

これまでの公共交通空白不便地域の対応について

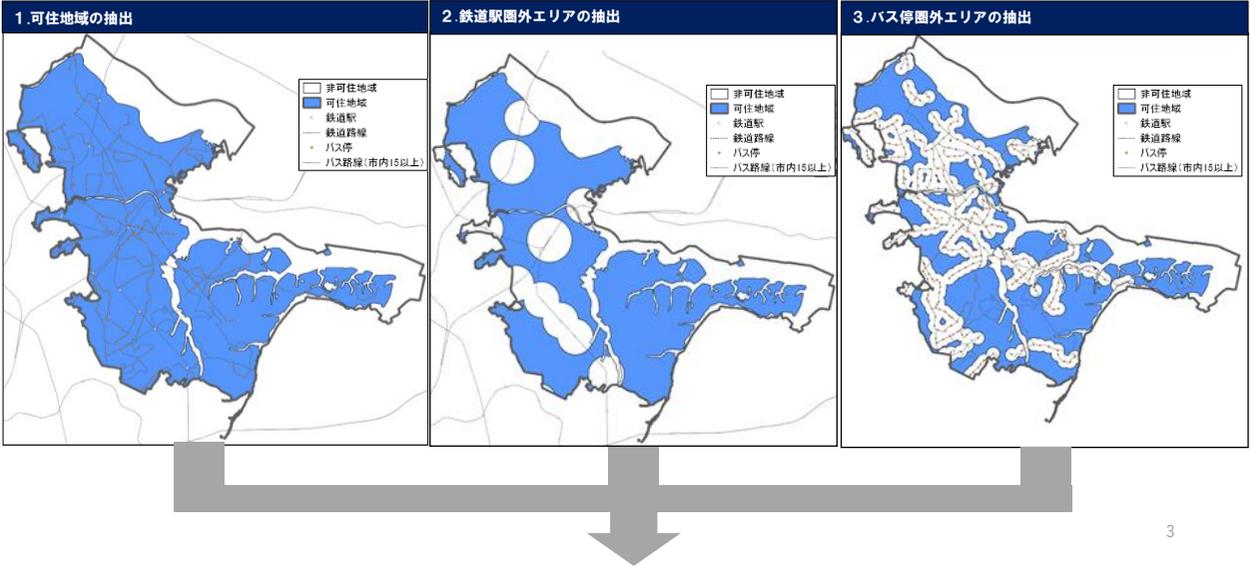
1

1. 公共交通空白不便地域の抽出
2. 優先対応地域の選定
3. 地域へのアンケート調査実施
4. 地域へのヒアリング調査の実施
5. 実証運行

2

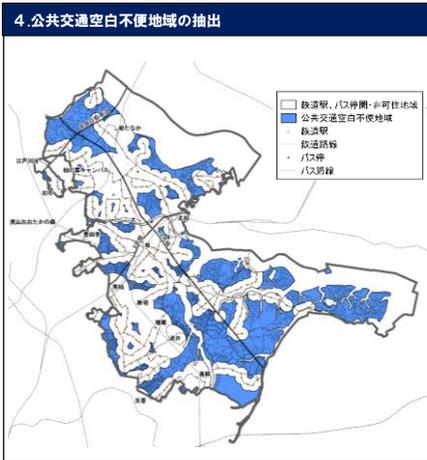
○柏市公共交通網形成計画において公共交通空白不便地域を次のとおり抽出しました。

1. 河川・公有水面及び農用地以外を可住地域として抽出
2. 鉄道駅から800m（柏駅、柏の葉キャンパス駅は1km）の範囲より外側に位置する地域を抽出
3. バス停（片道15本／日以上路線（民間路線バス））から300mの範囲より外側に位置する地域を抽出

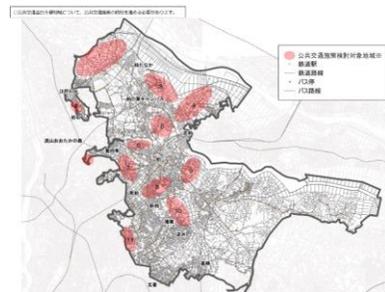


3

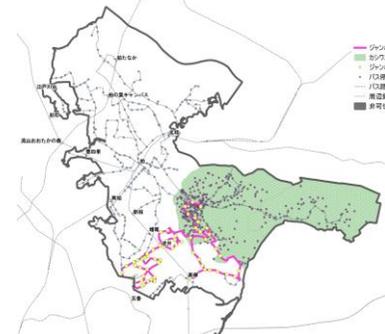
4. 可住地域のうち、鉄道駅圏外かつバス停圏外に位置する地域を公共交通空白不便地域として抽出



公共交通空白不便地域解消検討エリア



ジャンボタクシー・カシワニクルエリア



4

【地域別評価表】

公共交通空白不便地域名	①人口の状況						②世帯の状況						③居住環境			評点【指標①～⑦】	
	人口(人)	面積(ha)	【指標①】人口密度(人/ha)	【指標②】65歳以上高齢者人口(人)	【指標③】65歳以上人口の占める割合(%)	総世帯数(世帯)	【指標④】75歳以上のみ世帯人口(人)	75歳以上の世帯世帯数(世帯)	【指標⑤】75歳以上の世帯世帯割合(%)	評点【指標①～⑤】	【指標⑥】商業施設立地状況	【指標⑦】土地の高差	評点【指標①～⑦】				
(算定式)	a	b	a/b	c	c/a	d	e	e/d									
1 船戸、大青田、船戸山高野、正達寺	2,262	474.42	4.8	562	24.8	1	906	106	57	6.3%	3	1	なし	1	一部あり	1	3
2 西原	1,138	11.78	96.6	310	27.2	3	500	97	46	9.2%	3	9	一部あり	1	なし	1	9
3 大室、花野井	2,290	100.45	22.8	747	32.6	3	973	133	57	5.9%	3	3	なし	1	なし	1	4
4 船戸、布施、宿達寺	6,006	178.07	33.7	1,649	27.5	3	2,764	499	256	9.3%	3	12	一部あり	1	一部あり	1	13
5 松ヶ崎	5,556	94.87	58.6	1,185	21.3	3	2,339	355	181	7.7%	3	9	一部あり	1	一部あり	1	10
6 権龍田、西町	3,579	71.6	50	844	23.6	3	1,576	261	141	8.9%	3	4	なし	1	一部あり	1	6
7 東四季、豊上町、かやの町、旭町、新屋町、古野沢、豊平町、豊町、富里	11,343	133.12	85.2	2,502	22.1	3	5,088	681	335	6.6%	3	9	一部あり	1	なし	1	9
8 平屋台、永楽台、日立台、あかね町、ひばりが丘	5,233	47.54	110.1	1,220	23.3	3	2,319	564	251	10.8%	3	12	一部あり	1	一部あり	1	13
9 戸張、柏、東柏、八幡町、弥生町	4,839	98.32	49.2	1,049	21.7	3	2,081	327	150	7.2%	3	3	なし	1	一部あり	1	5
10 堀尾	3,526	161.93	21.8	1,013	28.7	3	1,484	321	135	9.1%	3	6	なし	1	一部あり	1	8
11 東山、西山	2,913	135.03	21.6	1,036	35.6	3	1,261	363	118	9.4%	3	10	一部あり	1	一部あり	1	11
合計	48,685	1,507		12,117			71,291	3,707	1,727								
平均値	4,425.9	137.0	50.4	1,101.5	26.2		19,955	337.0	157.0	8.2%							
中央値	3,579.0		49.2	1,036.0	24.8			327.0		8.9%							
(参考) 柏市平均(H27)	413,954	11,474	36.1	99,189	24.0		175,691						—		—		
評価の基準			○49.2以上	○1036以上	○24.8以上		○327以上		○8.2以上				なし		一部あり		
			◎50.4以上	◎1101.5以上	◎26.2以上		◎337以上		◎8.9以上				○		○		

【評価の考え方】

・「①人口の状況」および「②世帯の状況」については、11地区の平均値以上かつ中央値※以上の場合は3点、いずれか以上の場合は1点とした。(※中央値とは、数値を大きい順又は小さい順に並べたときの真ん中の値のこと)

・「③居住環境」については、各地域から商業施設まで300m圏外であることを目安に1点、地域内の平均標高差が10m以上あることを目安に1点とした。

5

【公共交通空白不便地域への新たな公共交通の導入の考え方について】

①日常生活（買い物や通院等）において、自家用車等での移動ができない方（移動に困っている方）の、**移動手段を確保すること。**

POINT

◎ 移動に困っている方の移動手段を確保すること
× コミュニティバスを運行させること

②新たな公共交通は路線バス網を補完する位置づけで導入し、路線バスとの役割分担を明確にした上で、**競合しないようにすること。**

POINT

移動手段の確保は、対象人数等に応じて様々な交通手段で対応可能
⇒ コミュニティバスを運行させるだけが交通手段ではない！

③需要や地域特性、道路状況等に即した車両・運行方式とすること。

POINT

⇒ 新たな交通は、路線バスルートと重なるルートを通ることはできません。
⇒ 民間交通事業者の営業に対して、影響を与えてしまうためです。

④地域の方が主体となって検討し運行することで、持続可能な交通手段として地域に定着させること。

6

●優先対応地域に選定した4地域内の13町会を対象としたアンケートを実施

- ・各地域における住民の日常の移動（買い物、通院）状況や交通に関する意識等を確認
- ・地域住民が新たな公共交通を本当に必要としているか確認

●町会長、役員などの地域の団体等にヒアリングを実施

- ・アンケートで拾いきれなかった意見等を確認
- ・ヒアリングを実施していく中で、地域のキーマンを探り、新たな交通の運行に関する地域協議会を設立し取り組みを進めていくことが可能か確認
- ・地域が主体となった運行が可能か確認する

公共交通空白不便地域内の町会へのアンケート結果

○ふるさと協議会【富勢地域】

名称	配布部数	回収部数	回収率
寺山町会	66	54	81.8%
新屋敷町会	56	51	91.1%
古谷町会	77	70	90.9%
利根町会	96	82	85.4%
布施新田町会	657	497	75.6%
高野台町会	1,458	721	49.5%
計	2,410	1,475	61.2%

○ふるさと協議会【高田・松ヶ崎地域】

名称	配布部数	回収部数	回収率
松ヶ崎町会	2,150	1,343	62.5%
計	-	-	-

○ふるさと協議会【永楽台地域】

名称	配布部数	回収部数	回収率
柏市常盤台町会	638	232	36.4%
日立台町会	113	104	92.0%
永楽台町会	1,282	1,029	80.3%
計	2,033	1,365	67.1%

○ふるさと協議会【光が丘地域】【酒井橋地域】

名称	配布部数	回収部数	回収率
東山町会	659	488	74.1%
西山町会	720	415	57.6%
計	1,379	903	65.5%

○柏ビレジ自治会

名称	配布部数	回収部数	回収率
柏ビレジ自治会	1,513	939	62.1%
計	-	-	-

総計	9,485	6,025	63.5%
----	-------	-------	-------

ヒアリング実施済み町会